

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課

担当名: 交通安全施設整備担当

内線: 5097

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B16	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業費			一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律			戦略項目			
						分野施策	010402 交通安全対策の推進		
<p>1 事業の概要</p> <p>県管理道路において、歩道がなかったり狭かったりするために自転車・歩行者が非常に危険な状態となっている箇所がある。その箇所に歩道の新規設置や拡幅整備を行うことにより、自転車・歩行者の安全が確保でき交通事故の軽減につなげる。</p> <p>また交差点部において、交通事故の約6割が発生しており、慢性的な交通渋滞も発生している。右折帯設置などの交差点整備を行うことにより、交通渋滞の解消と交通事故の軽減につなげる。</p> <p>(1) 歩道・自歩道整備 30,436千円 国費内定差による減額・事務費の節減による減額</p> <p>(2) 交差点改良 255,000千円 国費内定差による減額</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 歩道・自歩道整備 歩道がない所や狭い場所において、歩道の新規設置や拡幅整備を行う。</p> <p>イ 交差点改良 交差点部において、右折帯又は右折避譲帯等の整備を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 歩道・自歩道整備 一般県道さいたま鳩ヶ谷線(川口市) 外20箇所の整備を実施する。</p> <p>イ 交差点改良 主要地方道川越所沢線(川越市) 外19箇所の整備を実施する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 歩道・自歩道整備 歩道の新規設置又は拡幅整備により、自転車・歩行者が安全に通行できるようになり、交通事故の軽減につながる。</p> <p>イ 交差点改良 交差点を整備することにより、交通渋滞が緩和し、排出ガスの低減にもつながる。また、車両が安心して右折できるため交通事故の軽減にも有効である。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 歩道・自歩道整備: 国費内定差による減額 29,000千円 事務費の節減による減額 1,436千円</p> <p>イ 交差点改良: 国費内定差による減額 255,000千円</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>社会資本整備総合交付金 (国5.5/10・県4.5/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>公共事業等債 充当率 90%</p> <p>元利償還金交付税措置 財対分 50%</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×28.9人=274,550千円</p>									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	県債						
決定額	285,436	156,200	130,000					764	1,958,564
現計額	2,244,000	1,210,000	1,034,000						